

ナイス ヒ nice さん 見 つけ ちゃ い ました!



今月のいいね



クリスマス会(おにぎりのぬいぐるみ作り)の様子

一人当たりに換算すると...
日本では、毎日、ごはん
茶碗1杯分の食べ物が
捨てられているんだよ

つながる力で、
食品ロスを減らそう!

フーズ フーズ プロジェクト
Whose×Foods Projectのメンバー

町内の高校に通う生徒が主体となり「食品ロスをなくすこと」を目的に、SNSなどを通じて農作物の出荷の様子や生産者の声を紹介しているほか、食品ロスに関連するイベントの開催などの有志活動を行っています。

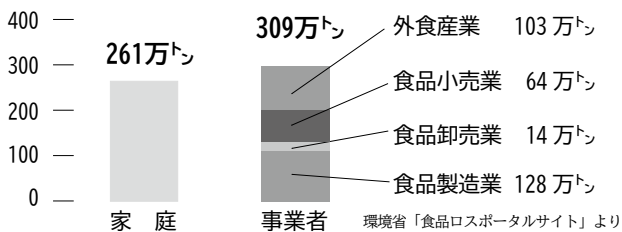
■設立のきっかけ

※SDGs(エスディーゼズ)で取り上げられるなど、近年食品ロス問題が注目を集めています。そんな中、メンバーの一人がフランチャイズ店でアルバイトを始めたころ、毎日毎日、大量の食品を「作っては捨てる、作っては捨てる」というサイクルが出来上がっていることに驚き、愕然として悲しい気持ちになったことがきっかけです。そこで、食品ロスに興味のある同級生とともに「自分たち高校生が何かできないのだろうか」と考え、食品ロスを無くすための有志の会を一昨年(2021年)の6月に立ち上げました。当初は5人でしたが、現在は15人で活動しています。

※SDGsとは、「持続可能な開発目標」。「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみならず2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。(2015年9月に国連サミットで採択)

食品ロスは、どれくらい発生しているの？

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食べ物のことです。日本では令和元年に、約570万トンの食品ロス(家庭から約261万トン、事業者から約309万トン)が発生したと推計されています。



■主な活動内容

●動画撮影による情報発信

農産物が生産から消費されるまでの期間、多くの人がかかわり食卓に届けられている様子を生産者の思いなどを交えながら、動画にしてSNSなどで紹介しています。

●ホームページ



●ツイッター



●Instagram



●地域コミュニティとのかかわり

食品ロスのことを皆さんに知ってもらうため、「おにぎりのぬいぐるみ(175個)」を作って表現する企画を進めています。昨年(2021年)の12月26日に静内生活センター(静内御幸町)で、「みんなでおにぎりのぬいぐるみを作ろう!」と題したクリスマス会を開催し、地域の小学生など約30人が参加しました。フェルト生地を裁断・手縫いしておにぎりのぬいぐるみを一緒に作ったほか、お菓子釣りやビンゴなどのレクリエーションを楽しみました。作ったぬいぐるみは、コープさっぽろ静内店さんにご協力をいただき、3月に店舗内で展示させていただけることになりました。

※全国の学校給食における食品ロスの年間1人当たりの食品廃棄物の発生量が約17.2kg。シンプルな塩と海苔のおにぎり1個約98gとして換算すると約175個分になります。
(17.2kg ÷ 0.098kg ≒ 175.5個)



イベントに参加した親子
大隅麻美さん(静内高砂町)

咲音さん(小5)
乙音さん(年中)

●イベントに参加した感想

(お母さん)好き嫌いせず、食べてもらいたいなあと思いました。また、子どもたちが家庭科の授業以外で縫い物をする機会も少ないため、とても良い機会になりました。

(お子さん)好き嫌いしないで、しっかり食べたいと思いました。ぬいぐるみ作りでは、縫い方が難しいところもあったけど、高校生が優しく声をかけてくれて、分かりやすく教えてくれたのでうれしかったです。

■今後について

普段の学校生活やこの先の受験や就職なども控え、限られた時間の中での活動ではありますが、後輩らにもこのプロジェクトの良さを知ってもらい持続可能なものにしていきたいです。

